

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



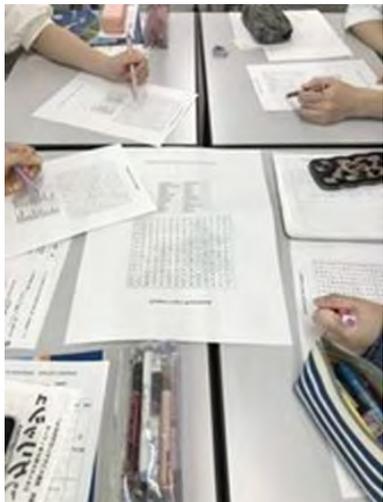
湘北短期大学の SDGs について ご紹介するニュースレターです

～発行者からのお知らせ～

23年度から、Webサイト湘北SDGsを開設し、授業や大学全体の取り組みを紹介しています。

ニュースレターでは、Webサイトに掲載した記事の中から、学科の授業や部門ごとの活動を、カテゴリー別にまとめて紹介していきます。

今後とも湘北短期大学は地域に根ざした教育機関として「Think Globally, Act Locally」を合言葉に、社会課題の解決にむけて持続可能な未来の創り手を社会に送り出していきたいと思います。



湘北 SDGs

Think Globally, Act Locally.

2024年度 第2号

(通算第17号)

今回の発行人 築瀬千詠

yanase@shohoku.ac.jp

学校法人ソニー学園 湘北短期大学

生活プロデュース学科・リベラルアーツセンター

〒243-8501 厚木市温水 428 TEL:046-247-3131 FAX:046-247-3667

【大学の取り組み】 ICT 化授業の勉強会実施！

業務効率化・ペーパーレス化に向けて（2024年前期）

2024年4月26日に金曜日担当の非常勤講師でICT化授業の勉強会を行いました。主にプリント印刷や採点などの業務効率化とペーパーレス化が目的です。湘北でも教材類のペーパーレス化を推進しています。生活プロデュース学科と総合ビジネス・情報学科の垣根を越えて情報交換できる時間になりました。今回初めて導入する4名の先生で前期1,468枚が100枚までに削減が可能になる見込みです。各講師の実施見込みと感想を紹介します。

■小島由記子【前期担当教科】色彩学A・B（担当学科 生活プロデュース学科）2014年から業務効率化のためICTを導入しています。色彩学では出欠管理・リフレクションシート・小テスト・前期試験をICT化させていて、印刷物は0枚で展開しています。今の学生は義務教育期からICT環境で育っているため、大学でもICTを活用したほうが作業が早かったり、率直なコメントが寄せられることも多くなりました。リフレクションシートのICT化は、学生から寄せられる質問や検定勉強の相談に対しても、その場で迅速にフォローできる利点があると感じています。



金曜日にご出講の非常勤講師「フライデーズ」の先生方

左から 若杉先生、後藤先生、小島先生、佐藤先生、仁志田先生

■仁志田華子【前期担当教科】General English I（担当学科 総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科）洋楽のディクテーション（単語の穴埋め）プリントを毎週 200 枚印刷し、全 13 回配布していました。解答用紙も毎週学生に 1 枚ずつ配布していましたが、グループ内の閲覧用に変更し、授業後に回収・次年度も使用できるリユースプリントにしました。それにより印刷枚数が 50%削減になります。さらに、小テスト 3 回分 300 枚の印刷が 0 枚になります。印刷の手間や授業準備にかかっていた時間も半減され、自分の作業も楽になりました。

■後藤理恵【前期担当教科】General English I（担当学科 総合ビジネス・情報学科）、Essential English（担当学科 総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科）小テスト 5 回分 240 枚のプリントが 0 枚になります。提出プリント 7 回分 340 枚も ICT 化が着手できれば 0 枚に。まずは小テストから実施して、自分が ICT 導入に慣れてから、次のステップとして提出プリントもペーパーレス化したいと考えています。これらすべて可能になれば約 600 枚分が 0 枚になります。勉強会を通して自分の業務を振り返る良いきっかけになりました。こんなにプリントを使用していたことに驚きましたし、ICT 化によって印刷や採点の業務も軽減できると感じました。初の試みですが、自分自身も前向きに取り組めそうです。



■若杉美奈子【前期担当科目】General English I（担当学科 総合ビジネス・情報学科）以前からペーパーレス化、ICT 授業の導入に興味があったので、勉強会で「自分の授業はここをペーパーレス化・効率化できそう」というイメージ掴みやすかったです。小テスト 6 回分 288 枚が 0 枚になる見込みです。勉強会后、すぐに Google 機能を利用して小テストを実施しました。今後は授業の特性に合わせて検証していくこと・学生に使用ルールなどをきちんとアナウンスして行うことで、よりスムーズな運営ができると感じています。

■佐藤ルミ子【前期担当科目】医療福祉関連の接遇とコミュニケーション、医療関連法規（担当学科 生活プロデュース学科）もともとプリント配布が少ない科目ではありますが、「医療福祉関連の接遇とコミュニケーション」では時間内に行う 5 問問題を ICT 化させることにより 100 枚が 0 枚になります。「医療関連法規」では、初回授業のアンケートがペーパーレス可能になると考えています。同じ大学内で働く講師同士で情報交換することで、他の先生方の授業工夫も知ることができると感じました。

■英語概要

Part-time Lecturers at Shohoku College held a study group for ICT classes on Friday, April 26, 2024. The main purpose is to improve operational efficiency of printing handouts and grading as well as go paperless. Four Part-time Lecturers participate in paperless action for the first time and they are going to reduce over 1000 pages during the spring semester. Shohoku College is also promoting paperless teaching materials strongly.

小島由記子（本文）、佐藤ルミ子、仁志田華子（英語概要）、後藤理恵、若杉美奈子
（金曜担当 非常勤講師）